

教科	数学	学年	第2学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	
		単元のまとまりの評価規準	
式の計算	11	①簡単な整式の加法・減法及び単項式の乗法、除法の計算をすることができる。 ②文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解することができる。 ③目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	[知識・技能] ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 [思考・判断・表現] ・具体的な数の計算やこれまでに学んだ計算のしかたと関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算のしかたを考え、表現することができる。 ・文字を使った式を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・文字を使った式よさを実感して粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を使った式を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
連立方程式	14	①2元1次方程式とその解の意味を理解することができる。 ②連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解することができる。 ③簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 ④連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	[知識・技能] ・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。 [思考・判断・表現] ・1元1次方程式と関連づけて、連立2元1次方程式を解く方法を考え、表現することができる。 ・連立2元1次方程式を具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立2元1次方程式を利用した問題解決の過程をふり返って、評価・改善しようとしていたりしている。
1次関数	25	①事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを理解することができる。 ②1次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 ③2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ④1次関数を用いて具体的な事象を捉え説明することができる。	[知識・技能] ・1次関数について理解し、事象の中には1次関数としてとらえられるものがあることを知っている。 ・1次関数の関係を表、式、グラフなどに表すことができる。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 [思考・判断・表現] ・1次関数としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考え表現することができる。 ・1次関数を使って具体的な事象をとらえて考え、表現することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・1次関数のよさを実感して粘り強く考え、1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1次関数を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
平行と合同	16	①観察、操作や実験を通して、対頂角や平行線の性質を見だし、それらを用いて三角形の角についての性質を確かめ説明することができる。 ②三角形の角についての性質を基にして、多角形の内角や外角についての性質を見だし、角の大きさを求めることができる。 ③平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ④証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。	[知識・技能] ・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質を見出すことができる。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・図形の性質や合同の関係を、記号を使って表すことができる。 ・合同などの図形の性質を使って線分の長さや角の大きさを求めることができる。 [思考・判断・表現] ・三角形の合同条件などをもとにして平面図形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見だしたりすることができる。 ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。 ・平面図形の基本的な性質などを具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・平面図形の性質や証明のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質や証明について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質や証明を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
三角形と四角形	20	①平行線の性質や三角形の合同条件などを基にして、二等辺三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見だしたりすることができる。 ②命題の逆の意味や直角三角形の合同条件を理解することができる。 ③長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の特別な形であることを理解することができる。 ④平行線を用いて、三角形や四角形などが等積変形できることを理解することができる。	[知識・技能] ・三角形と四角形に関する定義と定理及び逆について理解している。 ・証明の意義を理解している。 ・図形の性質や合同などの関係を、記号を使って表すことができる。 [思考・判断・表現] ・三角形の合同条件などをもとにして三角形や四角形の基本的な性質を証明したり、証明を読んで新たな性質を見だしたりすることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で利用することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・証明のよさを実感して粘り強く考え、三角形と四角形について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、三角形と四角形の性質や証明を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。
確率	12	①確率の必要性和意味を理解することができる。 ②簡単な場合について確率を求めることができる。 ③確率を用いて不確定な事象を捉え説明することができる。	[知識・技能] ・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 [思考・判断・表現] ・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えて表現することができる。 ・確率を利用して不確定な事象をとらえて考え、表現することができる。 [主体的に学習に取り組む態度] ・場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を利用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。

<p>データの比較</p>	<p>①四分位数や四分位範囲, 箱ひげ図などの必要性と意味を理解することができる。 ②四分位範囲や箱ひげ図などを用いてデータの分布を比較し, 説明することができる。</p> <p>4</p>	<p>[知識・技能] ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を使うなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。</p> <p>[思考・判断・表現] ・四分位範囲や箱ひげ図を使ってデータの分布の傾向を比較して読み取り, 批判的に考察し判断することができる。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え, データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり, 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとして, 多様な考えを認め, よりよく問題解決しようとしていたりしている。</p>
---------------	---	--